

6年連続

ストライキを背景に団体交渉、増勢に向けて、始動！

全医労第70回定期全国大会は、7月14～16日静岡県伊東市にて開催しました。

大会では109人の代議員から積極的な発言があり、16年度運動方針を確認し合いました。主な発言と答弁をまとめました。



国立医療を守るたたかい

○ 富士・八雲の実質廃止問題について支部・地方協・本部が連携して地域医療・職員の雇用を守るために全力で頑張る。国立だけでなく、地域医療構想の中で公的病院の縮小再編がされようとしている。医労連の「いのちを守るキャラバン行動」に結集して自治体要請に積極的に参加しよう。

○ ハンセン病療養所問題では、入所者は年々高齢化している。職員の雇用も含む将来構想が急がれる。また、深刻な医師・看護師の欠員、介護員の交替制勤務など支部と地方協・本部が連携して運動を進めていく。



大幅増員・夜勤改善

○ 4月時点での人員確保ができず夜勤回数が9回を超える職場が増えている。「月8日以内夜勤」を完全実施させるよう施設を追及

していく。

○ 子育て制度活用のための補充がない。育児短時間制度を活用する人に「夜勤をしてもらえないか」と打診。看護部は「強要ではない」という。

○ 7：1 厳格化で業務負担がさらにきつくなっている。また、地域包括ケア病棟に転換

されたが、業務量が減ったわけではない。仕事がきつく燃え尽きてしまう。

——様々、厳しい職場実態が出されました。黙っていたらめっちゃくちゃな働かされ方になってしまう。

職場点検をして、要求書を出して団交で追及しよう。

特定行為について

○ 特定行為について、研修だけ受ければ医療行為

ができるようになることは、まだまだ一般看護師に周知されていない。

——本部として宣伝が不足している。引きつづき特定行為について情報提供していく。



増員要求書

○ 厳しい職場実態を改善するための定員が足りて

いない。定員を増やせと運動しなくてはいけない。

○ 増員で団交を申し入れると「権限外」で交渉拒

否された。地方労働委員会に申し立てている。

——まず、増員要求書を出そう。そして施設に団体交渉を申し入れ、地方協・本部と連携しながら増員交渉が支部・施設間でできるようにするため粘り強く追及しよう。

保育所問題

- 保育士の賃金が大幅にあがったが栄養士も調理師もいて保育ができる。全職種の賃上げを求める署名に全支部で取り組もう。
- 診療報酬で夜間保育等の設置が評価されるようになった。さっそく夜間保育や休日保育を求められている。
- 看護師として、母親として子どもを中心に働き方を考えていく。そのために保護者・保育所・組合が手を取り合い院内保育所の存続・充実を訴え保育所問題で要求書も出そう。

看護署名

- 3年連続一人10筆の目標達成5支部。
- 15年度の目標達成は12支部と言う成果から、目標達成支部からの報告が相次ぎました。
- 3年間の成果に立って、具体的な夜勤規制やインターバル規制をとるために新たな署名が提起される。一人10筆の目標達成のために頑張ろう。



ストライキ権確立

- 支部からの具体的な意見は出なかったが、ストライキ権確立は何のためにするのか、切実な職場要求を前進させるための武器。仲間の声・要求を集めて施設に団体交渉を申し入れる。そして改善するために昨年以上の準備をしてスト権を確立しよう。
- 各地方協大会でしっかり学習と、投票方法など意思統一して昨年以上の批准率でスト権を確立しよう。

その他

- 業績評価の問題点について意見が集中しました。
- 「全員が対象であるはずが、医師は徹底されていない」「目標がたてられない、と目標を出さなかったら懲戒処分もある」「面接や評価にかかる時間は業務と聞いているが、超過勤務はつけられない」「病気休暇を取ったらC評価」「こんな業績評価は中止撤回だ」
- 今年度、本部交渉をする方向で検討中。支部施設間でも「運用問題」で交渉を申し入れよう。
- OP室・司法病棟の「待機手当」を改善してほしいという発言が複数ありました。
- 本部として改善に向けて厳しく追及する。



3年間連続で組合員一人10筆の目標を達成するという事は、大変なご苦労があったと思います。全国大会では光明園・長島・豊橋・下関・柳井支部を表彰しました。

写真左：表彰状を受け取る光明園支部・桜井さん

写真右：表彰された 柳井支部・下関支部・長島支部・光明園支部・豊橋支部代表の皆さん